

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月30日 (2013.5.30)

【公表番号】特表2012-524029(P2012-524029A)

【公表日】平成24年10月11日 (2012.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2012-041

【出願番号】特願2012-505008(P2012-505008)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

G 0 1 N 33/535 (2006.01)

G 0 1 N 33/534 (2006.01)

G 0 1 N 33/533 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/47

G 0 1 N 33/535

G 0 1 N 33/534

G 0 1 N 33/533

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月5日 (2013.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

クラステリンと特異的に結合することができる、配列番号 1 又は配列番号 2 で示したアミノ酸配列を含むペプチド。

【請求項 2】

配列番号 1 又は配列番号 2 で示した配列と少なくとも 75 % 同一であるアミノ酸配列を含み、クラステリンと特異的に結合することができるペプチド。

【請求項 3】

配列番号 1 又は配列番号 2 で示したアミノ酸配列からなるペプチド。

【請求項 4】

カーゴ分子に連結している、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のペプチド。

【請求項 5】

カーゴ分子が、酵素、イメージング部分、放射性同位体又は細胞傷害性薬剤を含む、請求項 4 に記載のペプチド。

【請求項 6】

カーゴ分子がイメージング部分を含む、請求項 4 に記載のペプチド。

【請求項 7】

イメージング部分が、放射標識、フルオロフォア、近赤外蛍光色素又は磁気ナノ粒子を含む、請求項 6 に記載のペプチド。

【請求項 8】

分子イメージング、又はクラステリンが上方制御されている病状の検出のための、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のペプチドの使用。

【請求項 9】

腫瘍の分子イメージングのための、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 10】

分子イメージングが、光学イメージング、陽電子放出断層撮影、単一光子放射型コンピュータ断層撮影法、又は磁気共鳴画像である、請求項 9 に記載の使用。

【請求項 11】

病状が癌である、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 12】

腫瘍細胞の検出のためのカーゴ分子に連結したペプチドを含む薬剤の使用であって、前記ペプチドがクラステリンと特異的に結合でき、かつ前記ペプチドが配列番号 4 に記載のアミノ酸配列を含む、使用。

【請求項 13】

前記ペプチドが請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のペプチドであって、かつ前記カーゴ分子がイメージング部分を有する、請求項 12 に記載の使用。

【請求項 14】

腫瘍細胞の上皮間葉移行を検出するための、クラステリンに特異的に結合でき、カーゴ分子に連結したペプチドを含む薬剤の使用。

【請求項 15】

前記ペプチドがクラステリンと特異的に結合することができ、かつ前記ペプチドが配列番号 4 に記載のアミノ酸配列を含む、請求項 14 に記載の使用。

【請求項 16】

前記ペプチドが請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のペプチドである、請求項 15 に記載の使用。